

09

株式会社エヴァ
伊万里市滝野



ふるさとを離れて深まる郷土愛
地域貢献の一翼を担う存在に

キッカケ

標高250mの深い山の谷間に棚田が広がる、伊万里市東山代町の滝野地区。地元生産者で構成される滝野棚田の会と株式会社エヴァは、令和6年に棚田ボランティア協定を締結しました。エヴァの会長・川原司さんと棚田の会に所属する川原育男さんは兄弟で、兄の司さんは20代の頃に地元を離れ、弟の育男さんが家業を承継。司さんは個人的に田植えや稲刈りを手伝ってきたものの、地域社会の一員である企業としてもボランティア活動をスタート。ふるさとの棚田保全や地域活性化につながるため、棚田米やレモンの収穫支援・販売支援を行っています。



組織概要

平成11年創業の株式会社エヴァは、「健康で生きがいのある長寿社会の形成」を理念に掲げ、介護・福祉用具のレンタルや販売を中心に、手すりやスロープの取り付けなど住宅リフォームも手掛ける企業です。福岡市内に本社を構え、伊万里市や佐世保市など北部九州に6つの拠点をもち、幅広いサポートを行っています。創業者で現在は会長を務める川原司さんは、持続可能な介護を支援する活動や地域活性化事業など多方面で活躍しています。



中山間地域での挑戦



● 棚田米の収穫支援

株式会社エヴァ(伊万里市)の社員と家族のみなさんが稲刈り作業に参加。棚田米のおにぎりといノシシ肉のバーベキューの振る舞いも大好評。

● 休耕田で栽培されたレモンの収穫支援

レモンは、棚田米と並んで滝野地区の特産品の一つ。休耕田を活用してレモンを栽培し、その収穫作業を支援。

● 休耕田をコスモス畑に

写真映える花スポットとして、休耕田にコスモスを植栽。車で約5分の場所には、県内外から見物客が訪れる川内野棚田のコキア畑もあり、近隣地域一体で楽しんでもらいたい。



つながり

ボランティア活動と同時期に、兄弟で経営する「はぐみファーム株式会社」を設立。滝野の棚田米の販売と、棚田米を米粉に加工して販売する会社で、アルファ化した米粉を製造しています。アルファ化とはでん粉が糊化した状態ことで、消化が良く、水やお湯を加えるだけで食べられます。火が使えない災害時の非常食としても活用されるなか、「介護食の開発につなげていきたい」と司さん。粘り気の強さは、お菓子作りやパン作りにもぴったりで、グルテンフリースイーツの幅を広げる情報発信や商品開発にも取り組んでいます。

耕す未来

経営者の視点で、地域活性化につながる構想も次々に生まれています。例えば、古民家をリノベーションした宿泊施設。食材だけを用意する無人宿で、泊まるところがあれば滝野の自然をより自由に満喫してもらえるはず。 「地元の歴史を紹介する場所もつくりたい」と司さん。「残りの人生を考えたとき、知りたくなるのが自分のルーツであり、ふるさとの歴史なんです」。景色が変わっていくふるさとのために、自分に何が出来るかを考え、行動する日々はこれからが本番です。



川原 司さん